



麻布幼稚園だより 12月号

平成30年11月30日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「充実の2学期が終わります！」

園長 大島 美知代

とうとう平成30年の終わりの月となりました。季節は変わって秋から冬へと移り変わっていきます。

朝、園児と保護者が登園してくる姿を見て、「おはようございます！」とあいさつを交わす時間、日によっては寒さが堪える時期となりました。あんなに毎日暑かったのに、毎日プールに入る時も園児の足の裏が暑くならないようにテラスのタイルに水をまき、水温や水分摂取に気を使っていたのに、季節は変わるものですね！これから、麻布通りの銀杏の葉も色付き、風も冷たくなっていくことでしょう。寒い冬を越えないと暖かい春はやってきません。寒い季節になりますが、体調に気を付けて毎日通ってください。

9月から12月までの一番教育日数の多い2学期が終わろうとしています。2学期は園児たちも一番成長する時期です。園児の成長を感じられましたか？

プール遊びに始まって体をたくさん動かして遊び、10月に入ると「親子運動会」に向けて活動を積み重ねました。体を動かす活動を充実するだけでなく、リズムに合わせての表現活動や声を出したり、声を合わせたり、年長組になると自分たちの行事の運営にも携わる動きも体験させました。ラインに並び、横の列、縦の列を合わせたり、入った玉の数を数えたり、2人組、5人組になって活動したり、など小学校の勉強につながることも体験させました。心情面については、勝負は勝つだけではないこと、勝つために考え、考えを出し合い、友達に伝え合って取り組む大切さ、負けてもくじけたり、投げ出さずに取り組んだりできる大切さ等も体験させることができました。

「作品展」では一人一人が丁寧に取り組むこと、自分の考えたこと、感じたことを思いのまま作品に表すことを体験し、その表現の面白さや楽しさを味わうことができました。はさみ、糊、ボンド、ガムテープ、セロテープ、いろいろの用具、いろいろな材料を使って作品を作ることを経験しました。年長組は数人の友達で1つの作品を作るために、力を合わせることや、考えや気持ちを友達に伝え、考えを1つにするために調整をすること、自分の考えが通らない場面に出会い、我慢したり、みんなで決めたことを受け入れたりする経験もしました。「作品展」で保護者や遊びに来てくれる麻布小学校の児童、10月に交流したパオの友達、保育園の友達、らっこの友達などの楽しそうな様子を見て、園児たちは自信をもち、「作ってよかった！」「見てもらえてよかった！」という思いは自己肯定感につながったことと思います。

3学期は短いですが、年長組は就学間近です。登降園時、自転車通園の方は、どちらか歩いてこられるといいな、進級する学年も身の回りのこと、自分のことは自分で時間内にできるといいな、と思います。きっと遊びや学級の友達といっぱい遊ぶ時間が取れるでしょう。